

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスいのもとランドせきとり店・児童発達療育園HAGUMI（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和6年 9月 15日		～ 令和7年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和6年 9月 15日		～ 令和6年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに合わせた適切な支援の提供	一人一人の個性に合わせた支援を行うために、毎日気付きや支援方法について情報共有を行っている。子ども達の細かい変化や保護者、学校からの情報も共有できるように、共有ツールを使用している。	外部研修・内部研修への参加や、資格取得支援を行って、職員の支援力の向上を目指しています。
2	子どもや保護者の満足度	安心安全に過ごせるように送迎時や室内外の活動時に職員一人一人が子ども達の様子をしっかりと見る様になっています。子どもと保護者の想いに寄り添った支援が出来る様に、信頼関係の構築を大切にしています。	相談支援事業所や、他事業所との連携を図りながら、より良い支援に繋げていきたい。
3	多様なイベント、プログラムの実施。	季節に合わせた行事イベントや毎月外出の他、外部講師を招いた音楽、体操、書道を実施しています。	多店舗との共同行事を企画していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バトレーニングや保護者交流などの交流支援	仕事を持つ保護者が多く、開催日時を決めることが難しい事や感染症が続いている事によるデイサービス内での開催が密になってしまうことが問題である。	近くの施設の利用して、子どもたちの活動の一環として、保護者が参加できる方法を検討している。
2	子どもの落ち着ける場所（個室や仕切り）がないところ	構造的に、一人になりたい時や体調不良の時に、職員の目も届きながら落ち着く場所の確保が難しい。	パーテーションなどの簡易の区切りができるかどうかを検討したい。
3	入り口までに階段があり、バリアフリーでない事。	水害が起こりやすい地域であり、被害軽減を想定しているため、構造変更は難しい。常に職員とともに注意して昇降する。	学校生活でも階段を利用していることが多いため、職員が共通認識をして、必要時声かけや補助を行っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		いのもとランドせきとり店		公表日		年月日		利用児童数		年月日		回収数 26	
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応					
	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	5			クールダウンスペースがあると安心です。 十分なスペースがある。	相談室を一時的に利用している。 勉強のスペースと遊びのスペースを分けたり、食事中と終わった子ども達のスペースを分けられている。					
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	4			子どもの様子を色々な視点で見せてくれている。	職員数に合わせて子供たち同士で遊んでもらうなど危険回避を一番に配置している。						
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	10			事業所は1階ですが、2階以上には手すりがある。	1階入り口に2段の段差があるため、マスキングテープで段差を分かりやすくしている。2階以上は使用していない。						
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23			3	しばらく見ていないため、分からない。 問題なく活動できる環境です。	活動によって、テーブルを移動して広いスペースを取れるようにしている。						
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1			子どもの特性を十分に理解してくれている。	家族への聞き取りと職員間での情報共有にて個々への対応が出来る様に努めている。					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	3			同じ内容での取り組みが行われています。	実際に行っている事を公表している。					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26				保護者からの聞き取りをこまめにしてくれ、計画している。	感染防止として、個々に合わせ、電話、書面、直接面談で聞き取りしている。					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	2			問題ありません。	移行支援対象者はいないが、ガイドラインに沿った計画作成を心掛けている。					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1				計画書の内容について、職員間の情報共有を図っている。					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26				お買い物や外食したりする日が増えると嬉しいです。（自分でお金を出して購入したり。）	お買い物は定期的に取り入れている。 外食は偏食の子ども達が多いので、ピクニックが出来ることを目指したい。					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	10	10		必要性を感じない。	通常小学校の通学者がほとんどのため、学校内で十分交流環境が出来ている。 色々な面で難しいと感じている。					
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	2			都度、丁寧な説明あり。	重要事項の変更など、説明が必要な事項については、その都度お知らせを配布している。					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25			1	計画書変更のタイミングで、説明があります。	案の段階で、再度意向確認をするようにしている。					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	10	10	1		家族が参加できる研修会の案内はしているがペアレントトレーニングは行っていない。営業時間内の実施が難しい。					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1			LINEですぐに連絡ができる。	子どもの状況に合わせて、電話またはLINEで連絡を行い合っている。					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	4	1	3	送迎の際に話をしてくれる。何かあれば時間を取って話をしてくれる。	モニタリング以外にも、状況に応じて、話を聞く時間を取るようにしている。					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26				どんな時も、否定せず、根気よく丁寧に対応してくれます。	本人や家族の頑張りを理解したうえで支援を職員間で共有している。					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	4	8	14			必要性を感じない。 仕事を持っている家族が多く、保護者会の参加は難しい。 本年度は家族や兄弟参加型のミニコンサートを予定しており、今後に繋げたい。					
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23			3	困ったときは送迎時やLINEですぐ相談ができます。直接面談も希望すれば、すぐ対応してくれました。	問題があると判断した時は、早期面談を行うようにしている。 他事業所にも関わるときは相談支援事業所に連絡し、担当者会議をお願いしている。						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	2			LINEですぐに連絡ができる。	保護者全員とLINEで連絡を取り合っている。文章で伝わりにくい内容は直接話すように配慮している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	2			月1回お知らせが届き、Instagramでも子供の様子が分かる。	月刊誌、SNS更新を毎月行っており、ホームページで必要な情報の提供を行っている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	2			徹底されている。	本人を特定できる情報を室内に掲示しない。写真の取り扱いも、保護者確認の上で行っている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	4		1	マニュアルが更新されると、お便り配布してくれる。	マニュアルを家族向けに分かりやすくした内容で、配布を行っている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	3			月に1回行われている。	毎月、活動予定に避難訓練の日を設定して行っており、保護者にも周知できるようにしている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26					安全のために行っている取り組みを配布し、保護者にも周知できるようにしている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24			2	事故が起こっていないため分からない。すぐに連絡があるため、安心していきます。	怪我の写真をLINEで送るなど、デイ内ではない傷も伝えて、確認を取るようにしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	1			安心感を持って通っている。	毎日朝礼で、安全に楽しくを合言葉にしている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	2		2	いつも楽しく通っている。	笑顔をモットーに支援を行っている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1	1	3	子どもの事をよく見て対応してくれる先生方にはかんしゃしかない。	至らない点もあると思うが、いろんな意見を真摯に受け止め、より良い支援に繋がりたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いのもとランドせきとり店				公表日	年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		テーブルの移動ができ、活動に合わせたスペースの活用出来る様にしている。	継続してきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		利用者の人数とサポートの必要性を考えて、配置人数を調整している。	継続してきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		事務所や倉庫など、子供が入らないように子供目線で表示をしている。	継続してきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日清掃し、食事前後の消毒も行っている。テーブルの移動ができ、活動に合わせたスペースの活用出来る様にしている。	継続してきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		相談室を、一時的に個別に落ち着ける場所として使用している。	継続してきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		朝礼で、皆の意見をまとめ、業務改革を進めている。	継続してきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		全員に評価表を配布し、以降の確認をおこなっている。	親御さんが多忙で、意見による表示が少ないため、今後検討してきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎日のミーティングで、全員の意見が聞ける環境を整えて、必要時業務改善を行っている。	継続してきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者評価を行っていない。	今後検討してきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部顕彰会への参加やZOOMを活用した研修会の参加を行っている。	継続してきます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムの基本を踏まえ、作成し公開している。	継続してきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		支援会議を行い、作成している。	継続してきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援会議を行い、作成している。	継続してきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		ミーティングで最終確認を行い、共通認識の上で支援を行っている。	継続してきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		共通のアセスメントツールを使用している。	継続してきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		5領域を含め、必要な支援を選別し計画書に反映させるようにしている。	継続してきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		ミーティングの時に皆で立案している。	継続してきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		新しい活動を取り入れながら、外部講師による固定活動も大切にしている。	継続してきます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動は全員参加出来るように工夫し、特性に合わせて個別支援も行っている。	継続してきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼で、欠席者や予定変更者の確認を行い、送迎の変更や役割分担を確認している。	継続してきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎時に気付いた内容はLINEで情報共有を行い、事業所に戻り、協議している。	継続してきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		連絡帳に支援内容を記すとともに、業務日誌に記載して、朝礼で検討している。	継続してきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行っている。	継続してきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		4つの基本活動を網羅した支援計画に基づき、支援を行っている。	継続してきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動内で意見発表を行えるように工夫している。活動の変更などこども会議も実施している。	継続してきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		直接支援を行っている職員に参加してもらっている。	継続してきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		家族を通して情報を得ている。	関係機関と連携したいが、時間調整が難しいため、今後の課題とします。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年間計画、行事予定を頂いている。送迎の遅れなど、直接連絡を行っている。	継続してきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		多機能事業所として、情報のあるこどもの受け入れがほとんどである。	他の事業所から移行してくる場合は、利用していた園や保育所などの情報交換を行っていききたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現在までに、卒業生がいない。	卒業の時には情報提供を行いたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		相談員の方を仲介して、必要に応じた会議設定を行っている。	継続してきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		行う機会がない。	望まない家族もあり、今後の課題としたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		出来る範囲で一人は参加するように調整している。	継続してきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳による情報交換を行っている。	継続してきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族が参加できる研修の情報は送っている。	ペアレントトレーニングは検討していききたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に全て説明を行っている。	継続してきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもと家族の意向を聞き取りを行って、サービル計画に取り入れている。	継続してきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		実際に直接説明ができない場合もあるが、LINEや書面で訂正をもらい、直した計画書に同意署名をもらっている。	対面で説明する機会を増やしていきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		早期に面談を行い、相談を行っている。家族の同意を得て、相談員さんにも伝えている。	継続してきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	行っていない。	家族が働いている家庭が多いため、調整が難しい。長期的に考えていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	迅速に職員間で対応策を考え、保護者に苦情の原因となった事項の経緯や今後の対応策を説明している。	継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	月刊誌や活動予定表、他SNSやブログでの情報発信を行っている。	継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	情報発信時にダブルチェックを行い、情報が漏れないようにしている。	継続していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	子どもには、ほしいものカードを作っているが、片言で伝えることが多い。家族によって伝える手段を多様性に行っている。	継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	行っていない。	今は子供たちの特性もあり、難しいと考えている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	マニュアル作成し、適宜見直しを行っている。	継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	BCPを作成し、月に1階の訓練を行っている。	継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○	フェイスシートで確認している。	継続していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	家族から情報を得ている。	医師からのアレルギー情報もコピーしておくようにしたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	安全計画に沿って、様々な訓練を行い、日々の安全管理に留意している。	継続していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	家族への避難場所案内など、各分野の安全対策や訓練実施を家族に配布している。	継続していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	ミーティングで対策を考え、ヒヤリハットをかきやすい様式を試している。	継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	代表者が院外研修を受け、職員全体講習を行っている。	継続していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	契約時の説明、個別支援計画書への記載、日々のチェック表で確認している。	継続していきます。	